

山田 真弓 認知症看護認定看護師

認知症の方と話す時の工夫

函館市の高齢者のいる世帯は2015年の調査では45・4%に増加、認知症の方の介護をされている方への2019年の調査では「認知症状への対応に不安を感じる」と答えた方が68・9%という結果でした。

認知症の方には記憶の障害、時間や場所の感覚の障害、伝えたいことをうまく伝えられないなどさまざまな症状が現れ、コミュニケーションを困難にしますが、その中で「聞こえ」の障害が関連している場合があります。高齢者の「聞こえ」の衰えは、言葉がくぐもって聞こえる、特定の音が聞こえずらく聞き間違いをしやすい、話のスピードについて行けず内容が分からない、部分的に聞こえた内容で返答するのでトンチン

カンな返答になる、などがあります。認知症の方は自分が今いる状況の理解ができないことが多いため、突然大きな声で話しかけられると怒鳴られた、怒られたと感じることもあります。聞き間違いや話の一部分しか聞き取れず自分のことを悪く言わ

れたと感じ取り、急に怒り出すこともあります。

また、聞こえない、話の内容が分からないことを自覚し、話をしなくなり家族や友人との交流が減ることで疎外感、孤独感に陥り、生活の活力、さらには生きる気力を失うことにつな

がってしまいます。

「聞こえ」の衰えのある認知症の方には、聞く準備ができてから話す、ということが効果的です。例えば、笑顔で挨拶をしながら話す、耳元で低い声で呼びかけ視線が合ってから話す、ゆっくり、はっきり話す、背中をやさしくさすりながら話す、などの工夫をしてみましょう。怒りっぽいのが減ったり、話の内容がつながるかもしれません。

認知症の方は「何も分からなくなる人」ではありません。自分の思いが伝わる、自分のことを気にかけてくれているという実感は安心感となり、認知症症状の安定につながります。介護する方、される方の両者が穏やかな気持ちで生活できるように話す時の工夫を試してみませんか。



函館中央病院
認知症看護認定看護師

山田 真弓 さん



函館中央病院

函館市本町33-2
☎0138-52-1231(代)
<https://chubyou.com/>

- 診療科目/
糖尿病・内分泌内科、消化器内科
腫瘍内科、循環器内科、小児科
外科、整形外科、形成外科
脳神経外科、心臓血管外科
皮膚科、産婦人科、耳鼻咽喉科
歯科口腔外科など、全26科目
- 受付時間/
8:30~11:30、13:30~16:00
※土曜は午前のみ。診療科や
時間帯によっては要予約。
- 休診日/日曜・祝日・年末年始

